

港防災センター東海豪雨から 20 年企画展において寄せられた、東海豪雨当時のエピソード

東海豪雨当時 住んでいた場所	当時の年齢	東海豪雨当時のエピソード
名古屋市緑区	30代	<p>中川区から緑区の自宅に帰る途中、平子橋の手前で車で浸水により通行不能となり、近くのコンビニエンスの駐車場に止めて、雨が止むのを待っていた。しかし、車の中に水が入ってきたので、慌ててドアを開いたら、膝下まで水がきていた。危険を感じ、乳児の娘を抱き、歩いて道を渡った。そのとき、腰ぐらいまで水に浸かった。次の日車を取りに行ったら、駐車場の屋根まで水が到達していたことが分かった。車は廃車となったが、無事に帰宅することができて良かった。</p>
名古屋市名東区	20代	<p>仕事していて自社ビルの1階が浸水ギリギリでした。土嚢を作り対応しました。</p> <p>その後、車での帰宅。</p> <p>途中、箇所もありましたが無事に帰れました。</p> <p>今思えば、車での通行は危険で教訓になりました。</p>
名古屋市北区	20代	<p>床上浸水で1階は畳がめくれあがるほど全滅して</p> <p>2階でカセットコンロで食事していました</p> <p>一時避難もしましたが、人がいっぱいでの字寝るしかなかったので、水が引いてからは家の2階で家族四人で生活していました👨👩👧👦</p>
名古屋市北区	20代	<p>1メートル50センチほど床上浸水していました</p> <p>水が引いてからは家の2階で生活して</p> <p>近くの避難所からパンをもらって食べていました</p> <p>細長いクリームの入ったパンです</p>

名古屋市北区	20代	<p>その日、大学のゼミで実験データのまとめか何かをしていたのですが早めに切り上げて帰宅することになりました。</p> <p>僕は自動車通学だったので普通に帰ることに。</p> <p>塩釜口の大学を出発し、最初のうちはよく降る雨だなぁくらいにしか思っていませんでした。</p> <p>新瑞橋の駅付近にさしかかったところでチョロチョロという音が。室内に水が入ってきたのです。前方をよく見るとフォグランプの明かりがゆらゆら揺れています。すでにフォグランプは水中を照らしていたのです。</p> <p>エンジンが止まったらおしまいだと思い、軽くふかしながらとにかく高いところへと考えました。</p> <p>が、進むにつれ水かさは増し、信号で停車すると対向車のおこす波で車体はゆらゆらと揺れます。</p> <p>41号線に出て熱田に抜けることができれば高架がある。そこまで何とかと思ったのですが、牛巻の交差点を過ぎたところでエンジン停止。この時点でボンネットまで水につかっていた。ドアは開けない状態だったため窓から脱出、すぐ近くに日産のディーラーがあり、そこのスタッフさんの助けで、そこに車を押し運びました。</p> <p>ディーラーの方の計らいでここで立ち往生した人たちを店舗内で雨宿りさせていただきました。店内も浸水していたため、床の物を机などの上にあげる作業を手伝いながら。</p> <p>気づいたらポケットに入れていたケータイも水没し、電源が入らな状態だったため、外にある公衆電話へ。</p> <p>腰まで水につかりながらの移動、時折横の道を通るトラックが起こす波に必死に耐えました。</p> <p>幸い公衆電話が使用できたため自宅の両親に連絡、最終的に迎えに来てもらえてのは夜の11時を過ぎてからでした。</p> <p>車はしばらくそのディーラーで預かってもらい、引き取りに行けたのは1週間が過ぎた頃でした。</p> <p>アルバイト先の自動車整備工場は水没車であふれ、置き場もない状態でした。</p> <p>結局僕の車は水没により全損。</p> <p>初めての愛車でした。</p>
名古屋市熱田区	30代	雨がすごくて怖かった
名古屋市南区	20代	<p>夜10時頃、名古屋駅で働いてました名鉄がとまっていたので、地下鉄で、伝馬町まで出て歩いて帰りました。</p> <p>伝馬町は、大丈夫でしたが中京病院辺りで腰まで水に浸かりがっかりしました</p>

名古屋市南区	10代	<p>高校の野球部に所属しており、雨が降っていたので校内で練習した後、電車に乗って帰宅しようとしたのですが、すでに電車が止まっており、学校に引き返しました。</p> <p>学校では先生方が近くのコンビニ等で買って来てくれた菓子パンやおにぎりを食べ、電車の運転再開を待ちました。しかし、雨足は強くなる一方で、結局、その日は電車が動かず、野球部のメンバーや他の部活や文化祭の準備で残った人達と一緒に学校に泊まることになりました。</p> <p>翌朝になっても公共交通機関は止まったままでした。</p> <p>食べ物も昼前に名古屋市からおにぎり支給されるという情報がありましたが、それまではクラッカーぐらいしかありませんでした。</p> <p>しばらくすると地下鉄と市バスの一部の運行が再開されたという情報があり、それを頼りに市バスと地下鉄を乗り継いでなんとか家まで帰りました。</p> <p>市バスの中からは水没して動かなくなり放置された車が何台か見えました。</p> <p>家に着きテレビを付けると水没した街の様子が映っており、思っていたより被害がひどく驚きました。</p>
名古屋市南区	10代	家の片付けが大変だった(´-´;)
名古屋市南区	30代	<p>勤務地の刈谷市を車で20時に出発して帰宅出来たのが翌朝7時でした。</p> <p>とにかく渋滞がひどく浸水して動けなくなった車を道路のあちらこちらで何台も見ました。</p>
名古屋市南区	10代	学校帰りのバスが水に浸かって途中から歩いて帰りました
名古屋市東区	10歳以下	幼くて記憶に残っていないが、両親から大変な災害だったと何度も話に聞く。

名古屋市中村区	10代	<p>当時、名古屋市の隣町（現あま市）にある高校に通っており、夕方の下校時に大雨が降り出しました。自転車通学だったのですが、ハンドルを持つ手に当たると痛いほどの雨粒でした。道路が冠水し始め、途中の交差点（大治町の高速道路下だった記憶）で、まるで「マンガ」のようにトラックの跳ね上げた水しぶきを盛大にかぶりながら帰宅しました。その日は、一晩中降り続けました。</p> <p>翌朝、自宅付近は浸水することもなく無事で、当時は我が家は朝にテレビをつける習慣がなかったので、いつも通りに自転車で高校に向かいました。そして、庄内川の豊公橋の堤防をのぼり、川が見えたところではじめて事態に気付きました。河川敷を覆い尽くし、堤防ギリギリまで増水して濁流となった庄内川が目の前に広がりました。唖然として、5～10分くらい釘付けになっていました。今でしたら授業があろうはずもないことは一目瞭然ですが、何を思ったのか豊公橋を渡り、そのまま学校に向かいました。通行止めにはなっていなかったと記憶しています。豊公橋を渡り、そのまま県道を西に進みましたが、途中、コンビニが床上浸水していたり、自転車のペダルの下半分が水につかる場所もありました。</p> <p>高校に到着すると学校近くの水田と道路が増水で一体化していました。クラスに到着すると3分の1程度しかおらず、そのまま始業時間になると、登校した生徒は体育館に集められ「寄り道せずにはすぐ帰宅せよ」との指示を受け、自宅にトンボ返りとなりました。そこで、ようやくテレビをつけたら、新川の堤防が決壊しているヘリからの中継映像を目の当たりにしたのです。あとで友人に聞けば、あま市在住の子は床下浸水した、津島市在住の子は夜中に土嚢積みに参加した、など大変だったようでした。</p> <p>濁流となった庄内川の姿は、今でも強烈に記憶に焼き付いています。</p>
名古屋市中村区	10代	<p>名古屋駅の予備校に18:00頃までいたが公共交通機関がストップしていたため 大腿まで浸かり大雨に打たれながら家(中村区役所駅)まであるいた。他の友人は予備校に泊まっていた。どちらもたいへんだった。</p>
名古屋市中村区	20代	<p>大学生でしたが、西枇杷島に住む友人と3日程音信不通になり、不安でした。通っていた自動車学校が浸水して1か月ほど休校になり、これからどうなるか心配になりました。</p>
名古屋市千種区	10歳以下	<p>坂に水がずっと流れている状態でした。坂の上の方、土地が少し高くなっている場所にはどこからか避難してきた大人が何人もいました。</p>
名古屋市西区	40代	<p>駐車場の自家用車が水没。水流があまりなかったのに、車が結構流された。水流の強さ、恐ろしさを改めて思い知った。</p>

名古屋市西区	30代	<p>地域の集会所で住民検診に従事、すごい雨でベタベタになって皆さんが来所されてた。夕方も雨は続き、塾に小4の長男を迎えにいく際いつもなら15分かからず行けるのが30分たっても車が動かず、1度自宅に帰宅して歩いて迎えに行った。道路が冠水して膝まで子どもは濡れてしまった。</p> <p>夜中2時に避難勧告がでました。小学校へ避難するように言われたけど、実家の方へ避難しました。</p>
名古屋市西区	20代	<p>朝起きたら、辺りは海になっていました。車が水没して修理に30万円かかりました。周りは大変な思いをした人がたくさん。水が引いてしばらくは埃っぽく、ガスがすぐ復旧したものの電気は1週間くらいダメでした。</p>
名古屋市西区	40代	<p>町中を自衛隊の救助艇がすすみ、上空ではヘリコプターが旋回をしており異様な光景でした。30歳と28歳になった娘たちもいまだに大雨が怖いというトラウマになっています。</p> <p>ライフラインが途絶えてる状況で娘たちが中小田井小学校に「物資と弁当もらってくるね」と出ていく姿が今でも脳裏に焼き付いています。</p>
名古屋市西区	20代	<p>お風呂に入っていると、外からパトカーや消防団の呼びかけが聞こえました。堤防が決壊したから、浸水します。今すぐ避難してください。何も用意してなかった私は、少しの着替えと財布などを持って車で逃げました。外は思った以上に浸水が始まっていて、川のような道路に半分浸かりながら車を走らせました。枇杷島の堤防が決壊した側を通り、古城の交差点を越えて逃げましたが、後数分遅ければと思うと怖かったです。</p> <p>その日は実家に止まり、次の日に家の様子を見にいくとまだ、膝までの浸水。水の中を歩きながら家までたどり着くと、水は引いていましたが、家の中は悲惨でした。倒れた冷蔵庫や家具、浮かび上がった畳。どこから手をつけて良いのか途方に暮れながら片付けた気がします。水が引いた後の荒野のような光景。ゴミの山。茶色くなった風景は忘れられません。汚い水の中を歩いた時に足を切ったせいで、その数日後には便に寄生虫を見つけました。もう2度と経験したくないです。</p>

名古屋市西区	30代	<p>実家、兄、私と三軒共に水害に合い大変でした。</p> <p>明け方の枇杷島のサイレンに起こされ表を見たら既に車のタイヤの辺りまで水が来ておりみるみるうちに車の窓ガラスの上まで水が溢れました</p> <p>ガスが出るうちにたパスタを茹でておいたり、たまたま買ってあったインスタのご飯を温めました。</p> <p>電気も止まり夜になると真っ暗になってしまうのが困りましたが子供達は事態を把握しておらず妙に明るかったです。</p> <p>水も出ないのでお風呂に入れないのが困りました。</p> <p>水が引いた後も砂ぼこりとゴミの山で大変だったのを覚えています。</p> <p>実家も床上浸水、兄は天井近くまで水が来て家財道具すべてを失い大変でした。</p> <p>二軒とも元の生活に戻るのにお金と時間がかかりとても大変なことで2度とこのような事は起きて欲しくありません。</p>
名古屋市西区	30代	<p>当時、10歳でしたが街に茶色い水がどんどん増えてくる様子を鮮明に覚えています</p>
名古屋市西区	20代	<p>当時仕事をしていて、同僚が上司に電話してるのを聞いていたら、たまたま電話した時、その上司が救助されていてボートに乗っているところだったのを聞いて、とてもびっくりしたのを覚えています。</p>
名古屋市瑞穂区	30代	<p>道が完全に水につかり、怖かった。家が少し道より高いところにあり助かりました。</p>
名古屋市守山区	50代	<p>息子が車で走行中、矢田川の氾濫で浸水、マフラーから水が入り動けなくなった。本人及び同乗者は車外に避難して無事だったが車が全損、廃車となった</p>
名古屋市港区	30代	<p>車で通る道で冠水があり、車が止まってしまうか不安でした。</p>
名古屋市港区	10歳以下	<p>自宅は浸水しなかったので安心していた</p>
名古屋市港区	20代	<p>東京に旅行へ行っていた帰りだったので、新幹線の車内で朝まで過ごしました。</p>
名古屋市港区	20代	<p>中小田井ポンプで雨水排水作業してまして、堤防決壊聞いてポンプ停止しました。自衛隊からボート借りて本部に帰りました。</p>
名古屋市港区	10代	<p>大雨で洪水になっているのが珍しく、サンダルで外に出歩いてしまった。歩き回っているうちに、水の中に釘が刺さった板があり、それを踏んでしまい痛みを耐えながら帰った記憶があります。洪水があった場合には、大人しく家にいようと思います。</p>
名古屋市港区	30代	<p>過去に経験したことのない豪雨でした</p>

名古屋市港区	20代	旅行先から帰宅出来なくなり、新幹線で1夜を過ごした。
名古屋市港区	50代	いつも15分でいくところが、100分かかりました。
愛知県内 (名古屋市外)	10代	生まれて初めて雨の音や勢いに恐怖を感じました。 次の日の朝高校に登校する時に泳いで来たと言う人がいました。
愛知県内 (名古屋市外)	40代	新川が決壊した管轄消防職員で、決壊当日から救助隊として、約3日間活動しました。当館の写真パネルには、当日の部下が写ってました。キツかった活動を思い出しました。
愛知県内 (名古屋市外)	30代	就寝中に寝返りを打って手が布団の外に出た瞬間指先に冷たい感覚が走り、それが何かは分からなかったけれど、とにかく普通じゃないことだけはわかりました。身を起こしてみたら薄暗い中に水がひたひたと侵入しているのがわかりました。慌てて妻を起こし、携帯電話とその充電器、財布、通帳、印鑑、保険証、運転免許証をまとめさせ、子供を背負い、避難所へ向かいました。
愛知県内 (名古屋市外)	20代	夜中に避難
愛知県内 (名古屋市外)	40代	一宮市の国道22号の南行きが、大渋滞していた。
愛知県内 (名古屋市外)	20代	大学に行かずに困った
愛知県内 (名古屋市外)	20代	港区で働いていたが、定時にすぐに帰宅した その後しばらくして帰った同僚は電車が動かず、金山駅で寝泊りしたらしい
愛知県内 (名古屋市外)	60代以上	ヨーロッパに旅行に行っている時だった。向こうのテレビのニュースに被害の様子が流れ、名古屋がえらい事になっと思いがら見ていた。
愛知県内 (名古屋市外)	10代	学校から自転車で大雨の中帰りました。凄いい雨だなくらいな思いで、まさか翌日近くの川が決壊するとは思っていませんでした。 流れてくる泥水が迫ってきているのを見て、急いで畳をあげる記憶が鮮明に覚えています。忘れる事のない日となりました。
三重県	20代	駅前が水に浸かった

三重県	20代	<p>当時は三重県桑名市に住んでおり、豪雨当日は自動車関連工場で夜勤でした。工場の生産管理をしており、事務所には自分一人だけ。工場のラインでは1,000人以上の方が働いていました。夜が更けるに連れて雨がひどくなり、刈谷方面の工場に電話すると、浸水に備えて土嚢を積んだとの情報…こちらは高台にあったのでその心配はなかったのですが、自宅(桑名)の妻に電話すると道路が冠水しているとのこと。工場ラインの工長さんらと相談し、ラインで働いている方々が自宅の家族を心配しており、また少しでも早く帰らないと帰り道が確保できなくなるかもしれないとのことから、当初予定していた残業生産を取り止めて定時生産で終了としました。生産を止めるのはかなり勇気がいりましたが、皆が無事に帰宅でき、翌日以降、工場は部品の納入がストップして稼働できる状況ではなく、結果としては間違った判断ではなかったと安堵したのを覚えています。</p>
岐阜県	30代	<p>名古屋に通勤している主人が、朝6に前に家を出たのに、JRが動かず、鶴舞の会社に着いたのは17時過ぎだった。</p>
岐阜県	10代	<p>大学行っているときに、枇杷島駅のところで浸水してるのを電車のっているときに見たのが印象深い。</p>
東海3県以外	20代	<p>海外に住んでいたが、当時の日本語新聞に東海豪雨の記事が載っていました。</p>
東海3県以外	30代	<p>出張で愛知県内取引先に訪問中でした。打ち合わせが終わり帰路につく中雨がひどくなり新幹線などの交通機関が麻痺し始め東京への帰還を諦めマリオットホテルに逃げ込みました。ロビーでは帰宅難民となった方々が途方にくれており、客室から市内を一望すると西側一面水浸しになっていました。</p> <p>因果か今は名古屋に住んでいます。</p>